

やりがいも
責任も
殺さない!

丁寧なヒアリングが大切



合同会社 居宅介護支援事業所あおば
代表・介護支援専門員
もとやま よしえ

元山 好江さん (62)

- 59 略歴 (歳)
- 56 地域包括支援センター勤務時に、起業準備を始める
- 43 社会福祉法人や病院で働きながら資格を取得
- 37 ホームヘルパーとして介護の世界へ
- 27 結婚を機に退職し、子育てに専念
- 公務員として働く

保健所のポスターを見て30代後半から介護の世界へ

子育てが一段落し、やりたいうことを探していた時、保健所に貼ってあった「ホームヘルパー3級」のポスターにピンと来たのが、介護職に興味を持ったきっかけ。自分が役に立てて、相手の方に喜んでもらえる、これだ！と思いましたが、ホームヘルパーとして生活援助を行うところから始ま

起業概要

起業/2016年 起業年齢/59歳
 起業資金/100万円
 業務内容/ケアプラン作成、要介護認定の調査
 所在地/川越市

- マンリースケジュール
- 1~10日: 介護報酬請求のため、事務所でPC作業や書類のファイリング
 - 11日~月末: 電話でアポイントを取り、1日1~4人の利用者宅を訪問。徒歩や自転車で行くことも
 - ☺ 月1回のゴルフでリフレッシュ!

月の前半は事務作業DAY



近所の訪問は自転車です



輝き彩発見ストーリー

組織の枠にとらわれず 利用者に向き合いたくて



り、今の仕事につながる介護支援専門員(ケアマネジャー)の資格は、病院に勤務する中で取得しました。

利用者に向けたサービスを提供したくて起業

利用者に必要な支援を「ケアプラン」としてまとめるケアマネジャーの仕事にやりがいを感じつつも、徐々に、組織に所属して働くことの限界を感じるようになってきました。プラン作成の際、どうしても所属する法人のサービスを意識せざるを得ないんです。何の縛りもなく、利用者に向けたサービスを提案したい。それが起業を決意した理由です。

忙しさはましても起業の満足度は100%!

実際に起業したのは3年後ですが、その間は創業・ベンチャー支援センター埼玉の起

業セミナーに通ってモチベーションを維持していました。起業後は事務作業が増え、仕事は忙しくなりました。経費もかかるので、収入は勤めていたときの方が良いかもしれません。それでも、利用者さん第一で働ける今の環境に大満足しています!

利用者の困りごとをもっと手助けしたい!

起業して一番大変だったのは税金関係の手続き。起業後すぐに年末調整が来て、慌てて創業・ベンチャー支援センター埼玉に相談に行きました。今は税理士さんと契約

していますが、小規模事業者だと、顧問税理士を見つけないのも一苦労という話はよく聞きます。そうした苦労話を共有したり、情報交換したりするため、同業仲間と月1回のランチ会を開催しています。仲間がいるのは、本当にありがたいですね。

私の仕事は、土日にアポイントがあることも少なくありません。そのため、半年に1回のプチ旅行と、月1回のゴルフで、意識的に休むように心掛けています。今後は、少しでも多くの困りごとを解決できるように、事業の拡大も視野に入れて邁進中です!

教える!先輩起業家

続けるためのポイントは?

- ☑ 悩み相談や情報交換ができる同業の仲間はとても大切!
- ☑ すべてを抱えず、税理士などのプロの手も上手に借りること。
- ☑ 中古備品や100円ショップを活用し、初期投資を抑えること。

はじめたころの1枚

開業から3年お世話になった、ウエスト川越の創業支援ルーム。

